

しろねブランドの「顔」が決定

▶最優秀賞に選ばれた作品。このほか、優秀賞に二点が選ばれました。



6月14日、白根市農協本所でしろね農産物シンボルマークの選考・発表会が行われました。これは、市や農協からなる「しろねブランド塾」が、白根産の農産物を全国的にPRするために統一マークを募集したもので、県内外から202点の作品が寄せられました。二次審査の結果、笑顔に白根の「白」を表し、生産される農産物を大風の4本のラインで象徴した、池田喜六さん（三条市）の作品が最優秀賞に選ばれました。「斬新なデザインでキャラクター的にもユニーク。躍動感のある作品」と審査員評。これから、スーパーなどで皆さんの目にもとまることとなります。



親子で野鳥ウォッチング

白根地区理科センター
吾妻山親子探鳥会

六月十二日、白根地区理科センター主催の親子探鳥会が開かれました。参加者は大人十七人と子供十五人。福島県の吾妻山へ出掛けました。標高千六百メートル付近でバスを降りるとすぐに、「ジウイッチー」と、その名もジュウイチのさえずりが聞こえてきました。「ヒンカララ」というコマドリの声もすぐそこから聞こえてきます。沢では、複雑に鳴くミンサザイに「声は大きいのに体は小さいね」とささやき合う親子も。自然に親しみ、気持ち良い一日を過ごしました。



火災予防について学ぼう

白根地域少年消防クラブ合同結団式

六月二十八日、白根地域消防本部で少年消防クラブの合同結団式が行われました。同クラブは、火災予防の知識と技術を子供のころから身に付けてもらうことを目的として、平成六年に結成されたもの。今年三月には小林小学校少年消防クラブが、地域や家庭で防火意識を高めてきたことが認められ、全国少年消防クラブ運営指導協議会から全国表彰されたという実績もあります。この日は白根地域消防本部管内で消防クラブを結成している七校（小林小学校、大通小学校、月潟小学校、中ノ口東・西小学校、味方小学校、今年から新たに加わった白根小学校）の、自ら参加を希望する五年生百二十六人が式に出席しました。結団式では斉藤儀一消防長が「火は生活になくてはならないものですが、取り扱いを間違えると大変恐ろしいこととなります。消防クラブ員として火災について学び、人の命や学校を守る力になってください」と話し、各校の児童の代表にクラブ員証を授与しました。その後、児童たちは誓いの言葉を全員で復唱し、クラブ員としての自覚を深めました。「火事になったときどうしたらいいか学びたい」、「消火の体験ができるのが楽しみ」と、意気込みも十分なクラブ員たち。夏休み期間中に、一日消防士体験や実技研修、県消防防災航空隊の視察など、三回にわたる研修を行い、火災予防について学びます。

TOPICS

まちの話題

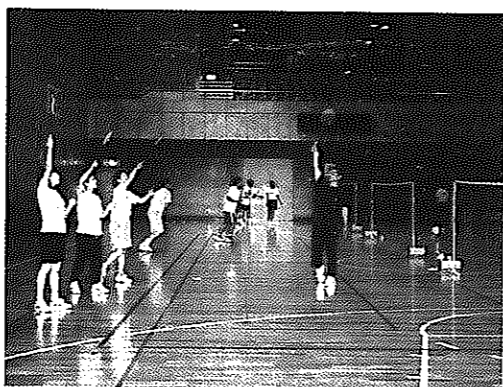


六月十二日、五泉市で行われた「新潟県小学生ソフトテニス選手権大会」に、白根ジュニアソフトテニスクラブが出場。男子の部で牧野俊（白根小六年）・森山将貴（小林小六年）組が優勝、外川昭太（白根小六年）・丸山拓也（小林小六年）組が三位に入賞し、七月三十一日から八月一日まで香川県高松市で開催される全国大会の切符を手に入れました。

攻めのテニスで全国大会初出場

白根ジュニアソフトテニスクラブ

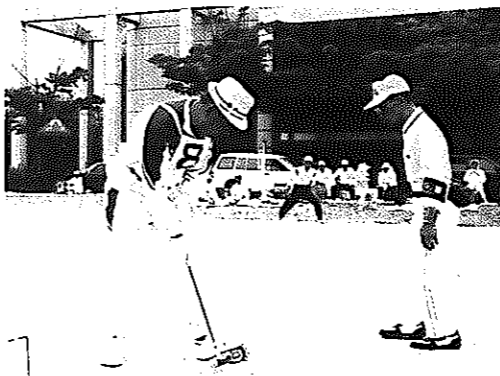
大会」に、白根ジュニアソフトテニスクラブが出場。男子の部で牧野俊（白根小六年）・森山将貴（小林小六年）組が優勝、外川昭太（白根小六年）・丸山拓也（小林小六年）組が三位に入賞し、七月三十一日から八月一日まで香川県高松市で開催される全国大会の切符を手に入れました。監督の今井健さん（市ソフトテニス連盟会長）は「特徴は高い打点から打ち下ろすことのできる攻撃的なチーム。個人・団体戦共に予選リーグを勝ち抜いて、決勝トーナメント出場を目指します」と話しています。



充実指導でレベルアップ

平成11年度スポーツ教室
「市民バドミントン教室」

市民の健康と仲間づくりを目的に行われているスポーツ教室。その中の一つ「市民バドミントン教室」が、カルチャーセンターで五月から六月にかけて行われました。指導は市バドミントン連盟の皆さん。初級者から上級者までレベルに合わせた練習で、大好評でした。参加者からは「基本を身に付けられました。なかなか思うようにはいきませんが、いい運動になりました」「自分でもうまくなったと思います」という声も。皆さん楽しんでいい汗を流していました。



市内外から48チームが出場

第15回三市中東蒲ゲートボール選手権大会

五月二十四日、カルチャーセンターゲートボール場で「第十五回三市中東蒲ゲートボール選手権大会」が行われました。大会には各市町村からの代表四十八チームが参加。四チームずつ十二のブロックに分かれてリーグ戦を行いました。白根市からも九チームが参加し、楽寿（中塩俣）チームと根岸チームが各ブロックで優勝しました。ある参加者は「いつもと違って市外の人たちと対戦するので、緊張して思うように打てませんよ」と笑顔で話してくれました。



みんなでもちや作り

子育てふれあい学級

六月二十二日、入園前の子供とそのお母さんたちに交流を持ってもらおうと、大郷・鷲巻・根岸・大通地区公民館共催の「子育てふれあい学級」が、大通地区公民館で行われました。この学級は毎回違った内容の十回シリーズ。参加者の親子二十組で遊んだり、学んだりします。三回目のこの日は、紙皿やストロークなどを使ってもちやを作りました。あるお母さんは、「子供が大勢の中で遊べて保育園に入る前の準備になります。私も一緒に楽しんでいきます」と話してくれました。